

会議録

令和 8年 2月13日 (金)

記録者

幡生亜紀乃

議題	グループホームぽてと地域連携推進会議
開催日時	令和8年2月13日 14:00~15:30
開催場所	グループホームぽてと
参加者	理事長、渡辺、大野、幡生、道観宏具、斉藤優子母、山崎聖子、花山
検討内容	1. 会議内容 (1) 開会・目的説明 本会議は、地域との連携強化および事業運営の透明性向上を目的として開催することを説明。 (2) 参加者自己紹介 出席者全員より自己紹介を実施。 (3) 法人概要説明 法人の事業内容、運営方針について説明 (4) グループホームぽてと 概要説明 定員・支援体制の説明 今年度より利用料金の一部変更 食費：月額固定制から実費負担へ変更 水道光熱費：月額制（季節により変動あり） 利用者平均年齢：40歳を超えている (5) 経営状況の報告 現在の運営状況について説明。 安定した経営基盤の確保が今後の課題であることを共有。 (6) 利用者の生活の流れについて 一日の生活スケジュールや支援内容について説明。 (7) 防災への取り組み 備蓄品の準備状況 避難経路の確認 避難訓練を実施 来年度は訓練時の問題点を検証し改善予定 地震時は2階の山側と反対側へ集合し、1階へは降りないよう指示 防火対策：壁厚15mm構造、煙が出にくい仕様 (8) 感染症対策 感染症対策マニュアルの整備 法人全体での委員会活動による情報共有・対策強化 2. 施設案内報告 男女の区別なし 清潔に管理されている 地域内のグループホームは当施設を含め2か所のみ 需要に対して供給が不足している可能性あり 今後は日中支援型グループホームの必要性について検討 3. 現状の課題 (1) 世話人体制について 世話人体制へ移行して1年経過

- 他ホーム同様、世話人の高齢化が課題
- (2) 経営の安定
 - (3) 地域とのつながり
地域行事への参加ができていない
今後、地域交流の機会創出が必要
 - (4) 安全・安心面
不十分な部分があるため、改善を検討

- 4. 利用者の高齢化への対応
利用者も年齢を重ねることで、現在できていることが将来的に困難になる可能性があり、その際の支援体制の強化が必要
- 5. 新たなグループホーム構想
利用者へアンケートを実施中
今後求められるグループホームの在り方を検討
日中支援型ホームの可能性について検討
- 6. 夜間体制・安全管理についての意見交換
夜間は世話人不在
急病時は利用者自身が緊急連絡を行う体制
オートロックのため外出時は入室不可の仕組み
開設以来、大きな問題は発生していない
利用者の行動特性を把握しており、問題行動のある方は受け入れていない
職員間で情報共有を徹底している
- 7. まとめ
地域との連携強化が今後の重要課題
利用者の高齢化を見据えた支援体制整備が必要
経営の安定と安全・安心の更なる向上を目指す
日中支援型グループホームの検討を進める

備考